

# 資本提携強化に関する説明会

2014年 5月13日

株式会社三菱ケミカルホールディングス

大陽日酸株式会社

# 本日のご説明内容

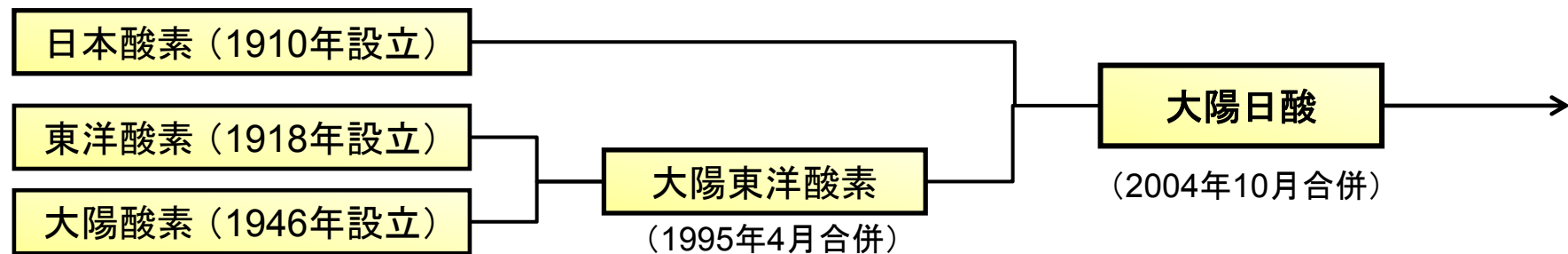
1. 資本提携強化の概要
  - 大陽日酸の概要
  - 大陽日酸の中期経営計画
  - 資本提携強化のスキーム
2. 資本提携強化の意義
  - グローバル展開の加速
  - 国内における事業基盤の拡大
  - シナジーの発現に向けて
3. 資本提携強化による財務インパクト
4. 資本提携強化後の三菱ケミカルホールディングスグループ

※資料中、三菱ケミカルホールディングスはMCHCと表記しております

# 資本業務提携の強化

- グローバルにおける競争環境の変化に対応するためには事業基盤の更なる強化が不可欠であり、その実現のため同一のグループとして協力し、両者の経営資源を有効に活用して一層の事業シナジーを創出することが必要であるとの認識で一致し、両社は資本業務提携関係を強化することに合意した。

## 《 大陽日酸の沿革 および MCHCグループとの関係 》



MCHCグループ保有株式比率

1953年に大陽酸素に出資(25%)

1995/4	2000/9	2004/9
20.4%	26.7%	36.2%

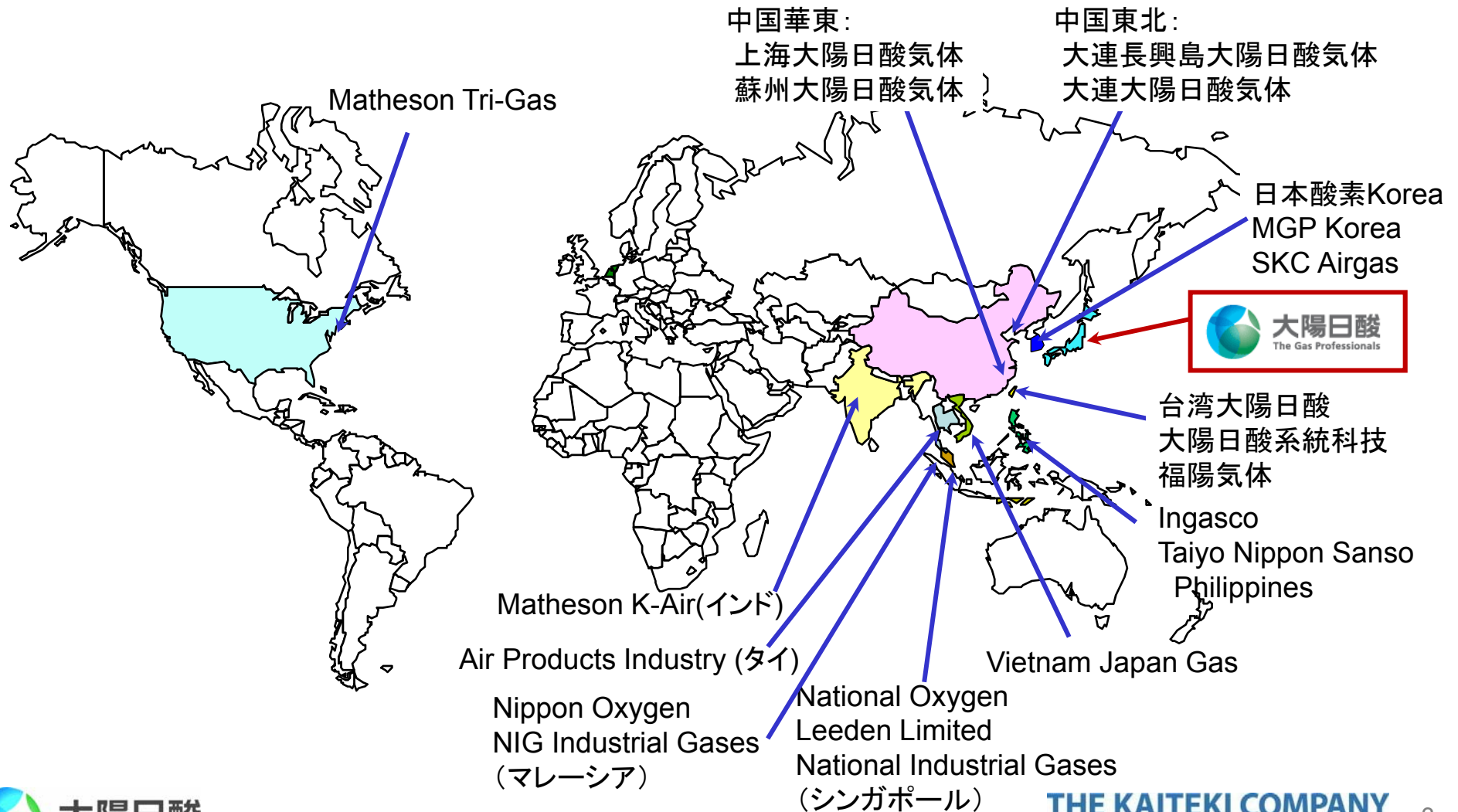
2004/10	2009/9	2013/10-
10.1%	15.1%	27.0%

## 《 大陽日酸の事業セグメント 》

産業ガス関連、エレクトロニクス関連、エネルギー関連(LPガス)、その他(メディカル、サーモス等)

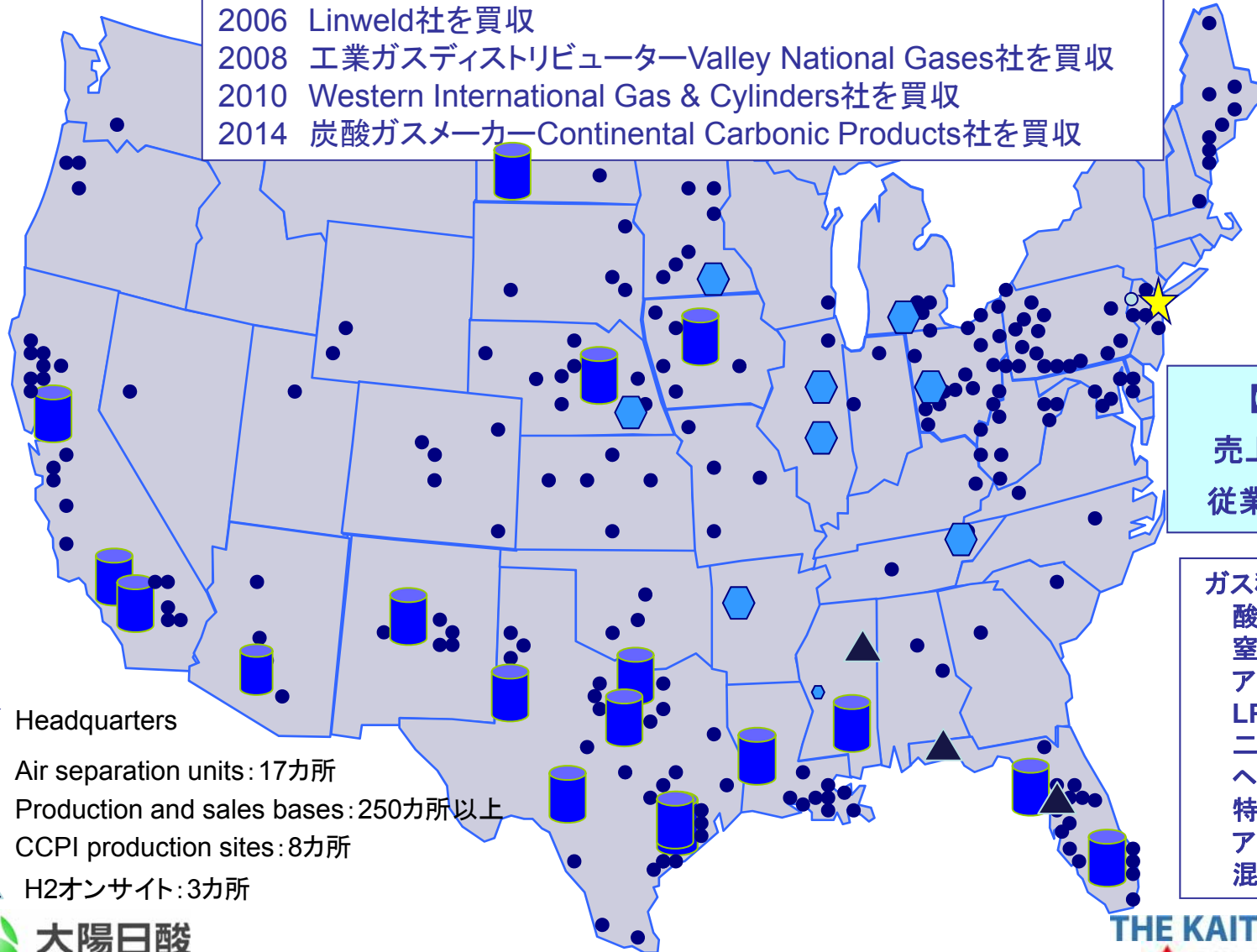
# 大陽日酸のグローバル展開

■ 積極的な海外展開～海外17カ国をカバーする総合産業ガスメーカー



# 大陽日酸の北米事業 - Matheson Tri-Gas

1983 特殊ガスメーカー Matheson Gas Products社を買収  
 1992 Tri-Gas社を買収 1999統合 Matheson Tri-Gas社発足  
 2006 Linweld社を買収  
 2008 工業ガスディストリビューター-Valley National Gases社を買収  
 2010 Western International Gas & Cylinders社を買収  
 2014 炭酸ガスメーカー-Continental Carbonic Products社を買収



**【MTGグループ】**  
 売上高: 約12億ドル  
 従業員数: 約4,000人

ガス種	供給可
酸素	○
窒素	○
アルゴン	○
LPG	○
二酸化炭素	○
ヘリウム	○
特殊ガス	○
アセチレン	○
混合ガス	○

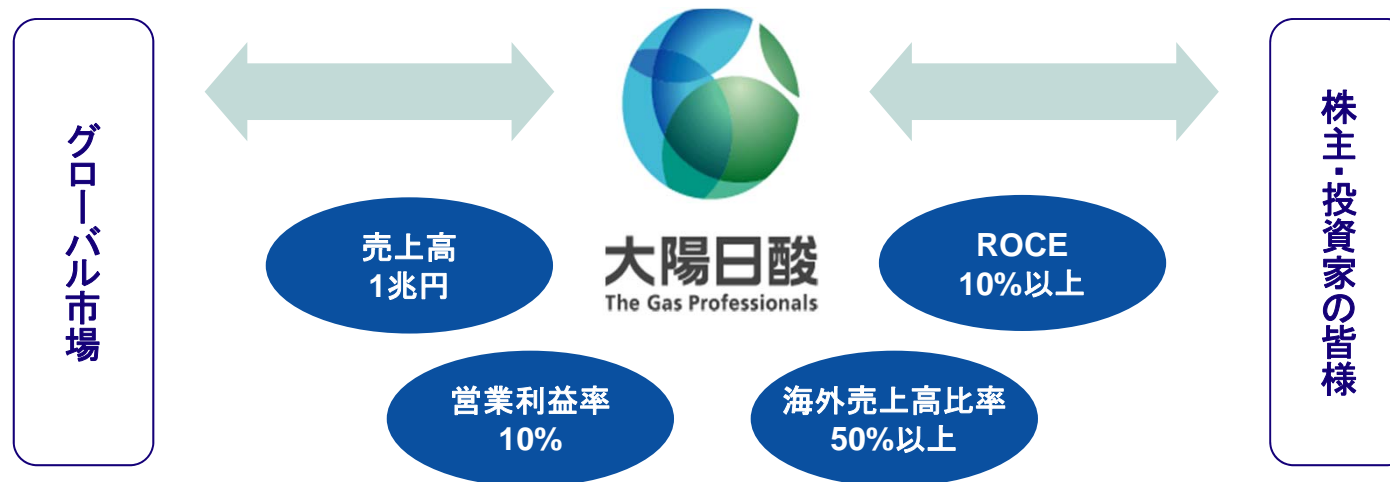
- ★ Headquarters
- 🔵 Air separation units: 17カ所
- Production and sales bases: 250カ所以上
- ⬡ CCPI production sites: 8カ所
- ▲ H2オンサイト: 3カ所

# 大陽日酸 長期経営ビジョン

2022年度までに、

『売上高1兆円・営業利益率10%・ROCE10%以上・海外売上高比率50%以上』  
を実現

⇒ 新中期計画を長期経営ビジョン達成のための第一ステージと位置付け、新たな収益基盤を築くための基礎作りと体制整備を図る

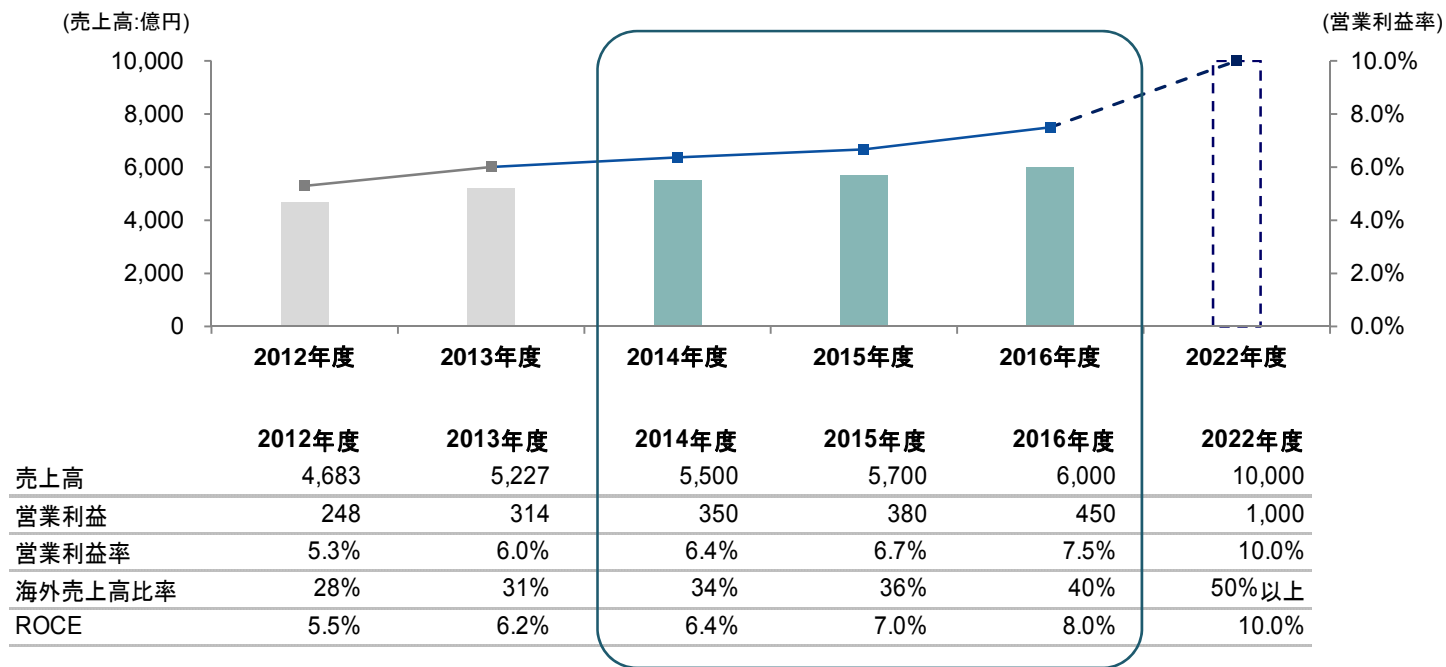


# 大陽日酸 新中期経営計画の経営目標

2016年度に、

『売上高6,000億円・営業利益率7.5%・ROCE8%以上・海外売上高比率40%以上』  
達成を目指す

新中期経営計画「Ortus Stage 1」



構造改革・成長戦略

最適化・規模拡大

事業会社M&A・ベンチャー投資・大型設備投資・合理化投資など、国内外において3年間で2,000億円の戦略的投資を実施

# 資本提携強化のスキーム

- MCHCは国内外の関係法令に基づく必要な手続き及び認可が完了することを条件に、大陽日酸株式の「公開買付け」を実施する。
- MCHCは、本公開買付け成立後も引き続き大陽日酸株式の上場を維持する方針であり、買付予定数は、現在グループで保有している株式と合わせて発行済株式数の51%となる株数を上限、50%超に達する株数を下限とする。

## □ 現在のMCHCグループ保有株数

	株数	比率
発行済株式数	433,092,837	—
MCHCグループ保有	116,797,870	26.97%

- 公開買付価格 : 1,030 円/株      5/12終値 802円に対して28%のプレミアム
- 買付予定株数 : 104,079,476株 (上限 51%取得)  
99,748,549株 (下限 50%超)



# 公開買付けのスケジュール

日程	アクション
2014年 5月13日(本日)	<ul style="list-style-type: none"><li>● 基本合意書締結</li><li>● 資本提携強化発表</li></ul>
日本及び海外該当国での競争法申請	
2014年11月上旬(予定)	<ul style="list-style-type: none"><li>● 公開買付け開始</li></ul>
2014年12月末(予定)	<ul style="list-style-type: none"><li>● 公開買付け完了</li></ul>

※ 国内外の関係法令に基づく必要な手続き及び対応の完了状況により、日程等を変更する可能性があります。

# 資本提携強化の意義－業務提携強化

- 国内外におけるサプライ・チェーンの構築及び運営、グローバルなネットワークを活用したマーケティング、拠点活用によるロジスティクス、及び研究開発面での協奏により、両社グループの事業基盤の拡大とシナジーの実現をめざす

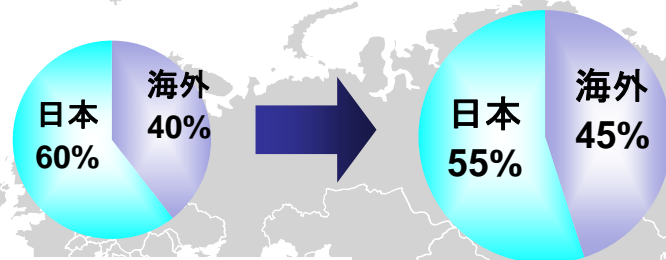
## 《 主な業務提携検討テーマ 》

分野	商品	概要
産業ガス	産業ガス全般 エンジニアリング	・ MCHCグループに対し、大陽日酸がワンストップで産業ガスを供給
エレクトロニクス	半導体材料ガス 及び製造装置	・ MCHCグループ促進事業での提携可能性検討 ・ LED用GaN基板の量産に関する協業
メディカル	人工炭酸泉 医療用ガス 医薬品原料	・ MCHCグループの炭酸泉製造装置と大陽日酸メディカル事業との協業検討 ・ MCHCグループの炭素繊維のガス容器への利用可能性検討 ・ 医薬品開発および両社の医療機関ネットワークを活用した協業検討
サーモス	家庭用品	・ MCHCグループの炭素繊維／樹脂加工技術の家庭用品（魔法びん）への利用可能性検討

# グローバル展開の加速

## MCHCの目標

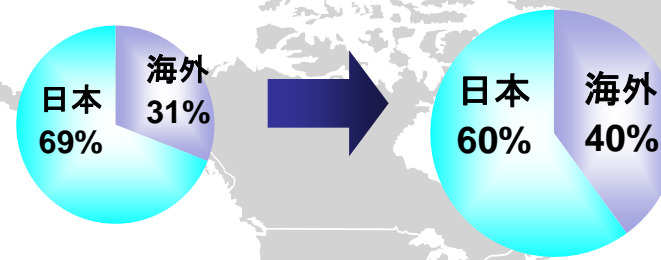
海外売上高比率  
2013年度\* ⇒ 2015年度



\*決算期統一影響を除いたベース

## 大陽日酸の目標

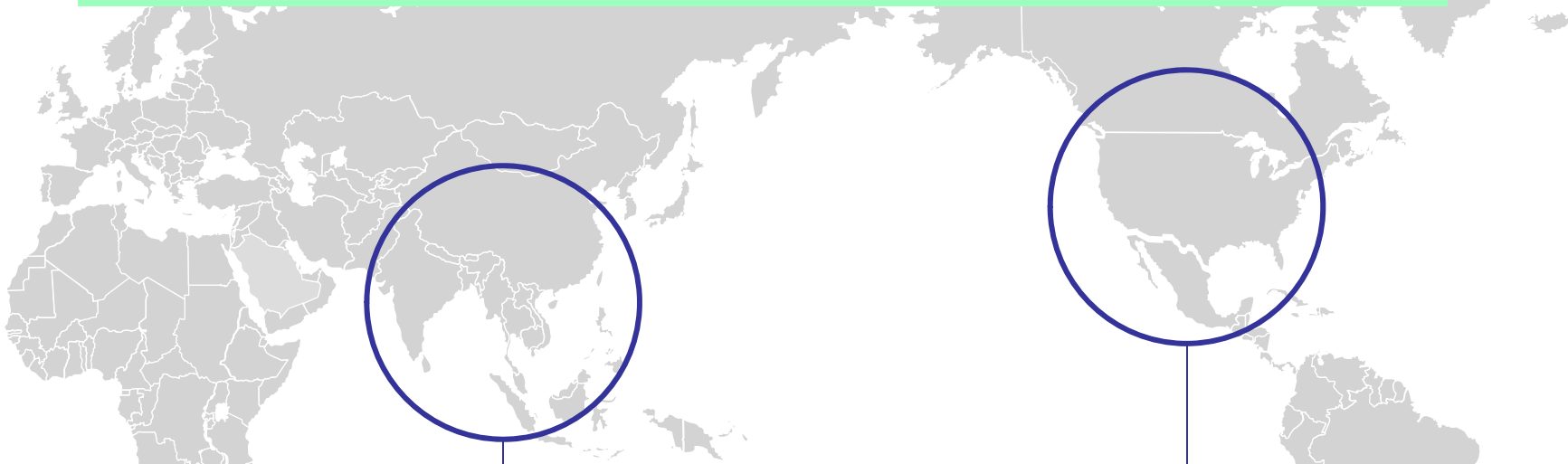
海外売上高比率  
2013年度 ⇒ 2016年度



- 両社の製造・販売拠点、サプライチェーンの相互活用
- オンサイト等、新規立地での協業検討
- 両社のエンジニアリング、調達部門等の機能強化
- 資金、人材を含めた経営資源の効率的な運営

# 両社のグローバル戦略

両社のシナジーが期待できるエリアとして、  
北米及び東南アジア・インドを重点市場と置く



## アジア：成長拡大が継続する市場

MCHC	大陽日酸
<p>成長需要獲得と競争力強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■自動車、機能性包装、環境・エネルギー関連市場でのマーケティング及び供給体制強化</li> <li>■LNG関連の需要獲得</li> </ul>	<p>東南アジア・インドでの成長需要を取り込む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■LNG受入基地向けのプラント需要</li> <li>■天然ガスサテライト向け液化プラント</li> <li>■水素オンサイト</li> </ul>

## 北米：シェールガス革命に起因する成長機会

MCHC	大陽日酸
<p>技術面で差異化できる製品を展開する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■EVOH増設(建設中)</li> <li>■α法MMAプラントの建設&lt;検討中&gt;</li> <li>■自動車、ソーラーパネル等の市場における展開</li> </ul>	<p>シェールガスに関連する事業機会を捉える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■オンサイト需要の獲得</li> <li>■シェールガス掘削に関連するガス需要の取り込み</li> <li>■LNGサテライトの展開</li> </ul>

# 国内における事業基盤拡大

- メディカル、ヘルスケアソリューション分野において、両社の経営資源を結集することにより、事業基盤の拡大、新商品の開発をめざす

- MCHCグループの人工炭酸泉装置と大陽日酸メディカル事業の協業検討
- 在宅医療向けにMCHCグループ炭素繊維のガス容器への利用可能性検討
- 両社グループの医療機関ネットワークを活用した協業検討
- 両社グループの研究開発力を利用した新規製品の開発

## 大陽日酸のメディカル関連事業

医療用ガス



酸素・窒素供給装置

在宅医療



酸素供給装置

凍結保存容器・システム



セルバンクシステム

(PETガン診断薬原料)

安定同位体



水-<sup>18</sup>O製造プラント

# シナジーの発現に向けて

2020年に事業シナジー、コストシナジー合わせて  
50億円以上の効果実現をめざす

- 両社の国内外での事業ネットワークの相互活用
- MCHCグループ海外新立地でのオンサイト協業
- ヘルスケア、エレクトロニクス分野での提携強化による新規技術開発や新商品開発
- エンジニアリング、購買業務等の相互補完及び効率化
- 事業拠点・機能の共有等、経営資源の効率的な運営

引き続き、シナジー拡大に向けた協業加速の検討を両社グループ一体と  
なって進めていく

# MCHCの財務インパクト

## 資金調達

- 必要資金(見込) : 1,072 億円 (買付予定数上限の場合)
- 資金調達 : 自己資金及び社債・借入金により対応する予定

## MCHC連結財務諸表に与える影響 (推計値)

2016年3月期 (連結子会社化後)	(2014年3月期との比較)
■ 営業利益 :	約 370 億円増加 (のれん・無形資産償却後)
2015年3月期 (公開買付完了時)	
■ ネット有利子負債 :	約 3,200 億円増加
■ ネットD/Eレシオ :	1.35 (2014年3月期 : 1.11)
■ 自己資本比率 :	22.0% (2014年3月期 : 25.8%)

※ 上記は一定の前提のもとに算出しており、公開買付け完了時点の状況により変動する可能性があります

# 資本提携強化後のMCHCグループ

## (株)三菱ケミカルホールディングス\*

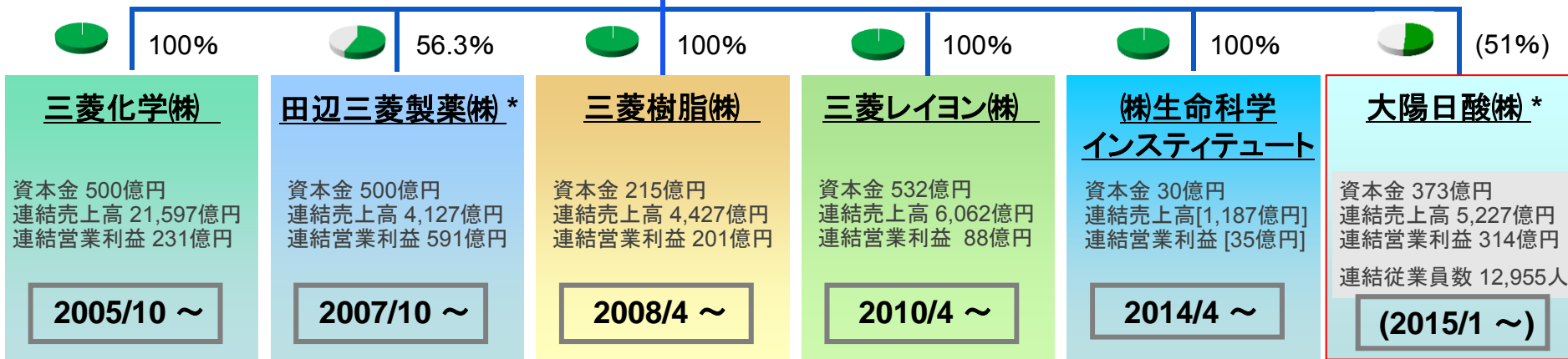
2005/10～

\*: 上場会社  
 \*\*: MCHCグループ持ち分比率合計

売上高・資本金・従業員数は、2014年3月期の値  
 ※生命科学インスティテュートは組替後のベース

### MCHC 2014年3月期

連結売上高 34,988億円  
 連結営業利益 1,105億円  
 連結従業員数 56,031人

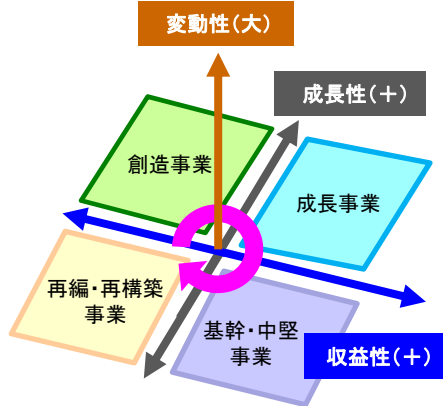


- 大陽日酸はMCHCグループの6番目の事業会社となる
- 大陽日酸は今後も経営の自主性を維持した上場会社となる



# ポートフォリオ上の大陽日酸の位置付け

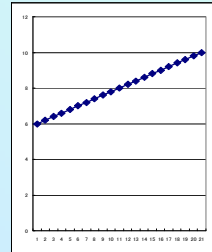
新たな評価基準として  
「変動性」を追加



従来の四象限管理



## 安定事業



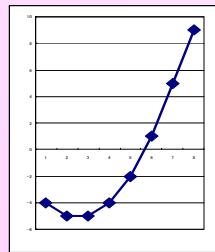
- ポリエステルフィルム
- PVOH/EVOH \*
- エンプラ製品
- 医療用医薬品
- MMA / PMMA
- 産業ガス

- 高純度グラファイト
  - 機能性樹脂
  - スペシャルティケミカルズ
  - 高機能フィルム
  - 食品機能材
  - 診断検査／創薬支援サービス
  - コークス
- など 合計30 SBU +1



従来の  
四象限管理

## 促進事業



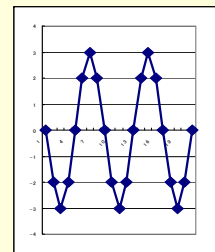
- 炭素繊維・複合材料
- 白色LED照明／部材
- リチウムイオン電池材料
- アクア関連部材／サービス

- 有機太陽電池／部材
  - 有機光半導体
  - 高機能新素材(AQSOAなど)
  - 次世代アグリビジネス
  - ヘルスケアソリューション
  - サステナブルリソース
- など 合計14 SBU



従来の  
四象限管理

## 変動事業



- 機能成形品
- テレフタル酸
- フェノール・PCチェーン
- ポリオレフィン
- 石化基礎原料

- カーボン・ゴム
  - 電子・産業フィルム
  - 繊維
- など 合計19 SBU

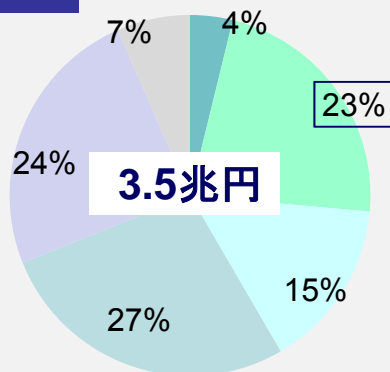


従来の  
四象限管理

# 資本提携強化後の事業ポートフォリオ

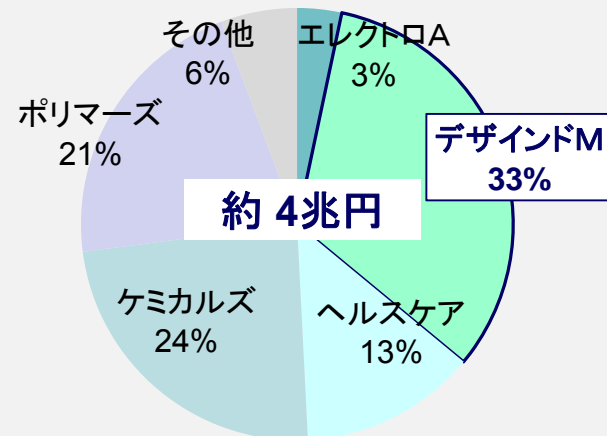
2014/3月期  
MCHC連結 構成比

セグメント別 売上高

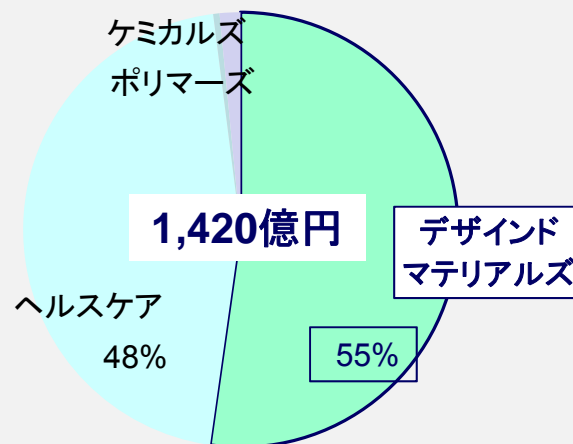
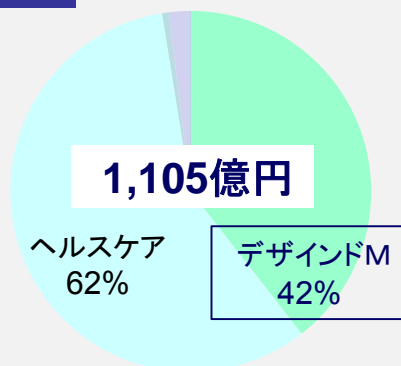


MCHCと大陽日酸の合算

※2014年3月期ベースでの単純合算



セグメント別 営業利益



# MCHCグループがめざす姿

## THE KAITEKI COMPANY

私たちがめざすのは、人と社会と地球、すべてにとっての快適＝KAITEKIの実現です。

暮らし (食・水・住・衣)   情報電子   医療   環境   エネルギー

ヘルスケア

機能商品

素材

Sustainability (Green)

Health

Comfort

環境・資源

健康

快適

さまざまな産業を支える大陽日酸のガステクノロジーをグループのポートフォリオに加えて、暮らし・医療・環境・エネルギーなどの分野の課題解決に事業活動を通じて貢献していく

多様な価値の創造に関わる企業として「THE KAITEKI COMPANY」をMCHCグループのめざす姿とし、人・社会・地球の持続的発展と企業活動の調和を推進する

